

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和4年4月20日

学校名 福井市下宇坂小学校

校長氏名 堤 清忠

1 今年度の目標（学校の約束）

- ① 下宇坂地区の環境、地球環境について学習します。
- ② 節電や節水に努めます。
- ③ 学校内でのごみの削減・分別に努めます。

2 取組内容

①環境学習

- ・下宇坂地区の自然環境について学習します。

②節電・節水の取り組み

- ・各学級で、使用していない教室や廊下、トイレなどの照明をこまめに消します。

③ごみの削減・リサイクル

- ・アルミ缶や古紙の回収を、PTA や地域と連携して実施します。
- ・委員会活動を中心として、全校でごみを減らすための取組を行います。また、ごみの分別を徹底します。

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。）

環境学習では、地域の方々に学びながら森林の役割とそこに生息する生き物の関わりについて協力して学ぶ力を身につける。（コミュニケーション・協力）

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h2 style="text-align: center;">下宇坂小学校</h2>	
<p>1 今年度の目標（学校の約束）</p> <ul style="list-style-type: none">① 下宇坂地区の環境、地球環境について学習します。② 節電や節水に努めます。③ 学校内でのごみの削減・分別に努めます。	
<p>2 取組内容</p> <p>①環境学習</p> <ul style="list-style-type: none">・下宇坂地区の森の学習 <p>3・4年生は、森の学習を行いました。学校林「うさかの森」で、木の切り倒しを行いました。森林組合の方から、間伐の意義や方法について教えていただき、どの木を間伐するとよいかを考える学習をしました。また、校区内の製材所に行き、自分たちが伐採・運搬を手伝った木が木材に加工される様子を見学しました。製材所の職員の方々から、丸太をどのようにして四角い建築材にしていくのかということなどを教わりました。</p> <ul style="list-style-type: none">・「うさかの森」の木を使って <p>森林組合の方に、児童が伐採・運搬・加工の見学をした木を使って、机の天板を作ってくださいました。児童は、森の木が自分たちの生活に活かされることを喜び、大切に使おうという気持ちをもっていました。</p>    <p>②節水・節電の取組</p> <p>ストーブやエアコンを使う時期には、一斉に電源を入れないように調整したり、教室を空ける際の対応を細かくマニュアル化したりして、できるだけ電気の使用を抑えるように工夫しました。また、寒い時期の清掃には、お湯を配る代わりにストーブの熱を利用して水を温めるようにして、省エネルギーに取り組みました。</p> <p>③ごみの削減・分別</p> <p>委員会の児童が、週に1回、そうじ後に全校のごみを集めて回ります。ゴミ袋に無駄が出ないように、できるだけ1枚の袋に入れるように心がけています。</p>	

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①の環境学習では、ふるさと美山の自然や産業の一端に触れることができました。実際に林業に従事している地域の方々から、木を育て最終的に建築材に加工するまでを教えていただきました。また、身近な美山杉を使って学校で使うものを作っていただき、それを使うことで、木のよさを再認識し、あらためて地域の産業のすばらしさやその価値について考える機会をもつことができました。（相互性・連携性・多様性）

3
見直し

【具体的効果】

- ・3・4年生の児童は、低学年の頃から「うさかの森」で遊んだり、学習の見学をしたりしてきました。自分たちが中心となって森の学習を進める番になり、意欲的に活動に取り組み、地域のよさを肌で感じていました。

【改善点】

- ・節電や節水の取組については、今年度は職員によるものが多かったです。今後は、児童も参加し、一緒に考えていくようにするとよいと思います。
- ・「森の学習」を通して培った、森や木を大切にする思いや知識を、学校の中だけでなく、地域や他の学校にも発信できるとよいと思います。